



みなみつ子

30号

学校教育目標

〇かしこく

〇やさしく

〇たくましく

令和7年12月3日(水)

南城市立大里南小学校

文責 校長 與儀 毅

学校の学習内容・学習方法が変わっている？！

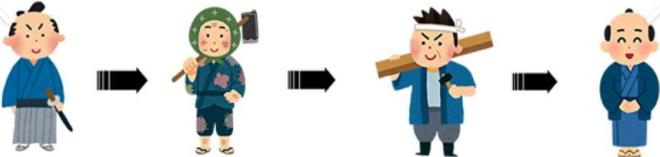
小学校の学習内容は10年の一度の改訂の学習指導要領に基づいて実施しています。中にはその10年サイクルではなく変更や導入されることもあります。例えば近年であると、児童一人一台タブレットの導入はコロナ流行の時期に導入され、道徳が教科科されたのも10年のサイクルの中ではありません。

保護者の方々の年代によりますが、まだ土曜日が隔週で登校であったり、生活科や総合的な学習の時間が始まったり、英語が教科ではなく、外国語活動であったり、学校に1カ所パソコン教室が設置されたりと今とは違うことがあったと思います。

今、学校では当時からは想像はできないような学校の風景や授業風景が広がっています。ランドセルの色がカラフルになり、男女別の出席番号がなくなったり、各教室に大きな電子黒板が設置され、一人一台のタブレットを1年生から使う授業が展開されたりしています。これらの変化は時代の要請とともに進んでおり、これから学校も変化は進んでいくと考えられます。

また変化は、教科書の内容にも多少あります。具体的には、6年生の社会科に見ることができます。以前の縄文時代の記述は狩猟採取で、定住や農耕はありませんでしたが、青森県の三内丸山遺跡が発見され、その記述が変わっています。その他にも、鎌倉幕府の成立や、江戸時代の士農工商の身分制度の記述が変化しています。これらは、新しい発見や、解釈の変化によって生じています。今後も、このような変化はあると予想されます。

士農工商は古代中国の言葉で、日本の身分制度とは無関係であることが研究で明らかになったことなどで、現在の教科書では、武士、百姓、町人という分類で説明されています。



全ての国語の教科書にのっている「ごんぎつね」4年生国語

小学校の国語の教科書は「光村図書出版」「東京書籍」「教育出版」「学校図書」などがあります。私たち学校を含め島尻地区は「光村図書出版」を使用しています。これらの各出版会社は、学習指導要領に基づいて教科書を作成しているので、掲載されている題材も基本的に異なります。

しかし、全ての教科書で取り扱っている物語があります。それは新美南吉作「ごんぎつね」です。

「ごんぎつね」1956年に教科書に取り上げられ、1980年から全ての教科書に掲載されています。新美南吉さんは14歳ころから童謡や童話を作り、「ごんぎつね」は19歳の時の作品とされています。代表作には「手袋を買いに」「おじいさんのランプ」「牛をつないだ椿の木」「花のき村と盗人たち」などがあり、多くの作品を残し若く29歳で喉頭結核のため永眠しています。新美南吉記念館が南吉の出身地の愛知県半田市岩滑西町にあります。



野外炊飯、飯盒炊爨という言葉

5生の宿泊学習の野外炊飯でカレーを作りました。野外炊飯という言葉の他に、飯盒炊爨という言葉があります。飯盒でご飯を炊くことがその言葉の意味です。

炊爨の爨の字がとても難しい字ですが、拡大してみるとイメージしやすい字です。「かまど」とも読む字です。その他にも「かまど」の字は「竈」「釜戸」等があります。子どもたちに人気の「鬼滅の刃」の「竈門炭治郎」の名前にある漢字です。難しい漢字でも、日常生活との関連を見つけると興味が湧いてきませんか？

爨

自分が住んでいる地名を深掘りする

大里という地名は私が知っているだけでも、沖縄市の大里、糸満市の大里、そして南城市の大里があります。その他にも沖縄には同じ地名があります。豊見城市の翁長、西原町の翁長、那覇市の与儀、沖縄市の与儀といったように地名が一緒であるところが多いです。その他にも奥武島も南城市や久米島町にもあり、奥武山も似ている地名です。この「おうじま」「おおしま」は他県にも大島が全国各地にあります。この地名の由来はなんでしょうか？

自分自身が住んでいる地名の由来を調べてみるとその地域の歴史がわかるかもしれません。